

今年誕生のコウノトリに 親しみある愛称を

～ 2羽の愛称を広く募集～

市では、今年生まれたコウノトリのヒナ2羽の愛称を一般公募する。

国の特別天然記念物であり、市の自然再生（生物多様性）のシンボルであるコウノトリを身近に感じ、親しみを深めてもらい、市の取り組みに理解と支援をいただきたいと考えている。

募集期間は、令和5年6月7日から6月22日までの16日間。

市は、ヒナに親しみのある愛称をつけることで、野田市生まれのコウノトリへの愛着を深めるとともに、認知度を高め、将来を担う子ども達に興味を持ってもらうことを期待している。

●愛称募集の概要

- 1 募集期間 令和5年6月7日（水）から6月22日（木）
(郵送の場合は、当日消印有効)
- 2 募集方法 一般公募
- 3 応募方法
性別が判明していないため、オス1点、メス1点の計2点まで募集
 - ・ヒナの愛称及び応募した愛称を思いついた理由
 - ・はがき、電子メール、応募用紙で応募（一人1口）※詳細は、別添募集要項のとおり
- 4 選考方法
選考は2段階で行うこととする。
 - 一次選考：一般公募した愛称一覧から、事務局が重複や対象外を整理し、コウノトリと共生する地域づくり推進協議会委員に、1人5点程度選考してもらい、取りまとめの上、上位5点を選出。同点の場合は会長一任。
 - 最終選考：一次選考した愛称候補の中から、野田市内の小学生による投票にて、得票順で愛称を決定し命名する。
- 5 発表
放鳥にあわせて発表
- 6 記念品等の配布
一次選考通過者に記念品を贈呈し、市内小学生には参加賞を贈呈する予定

●ヒナのふ化から現在の様子

令和5年5月13日 兵庫県立コウノトリの郷公園から卵を移送

令和5年5月16日 親鳥へ托卵

令和5年5月18日 ヒナ2羽のふ化を確認

誕生したヒナは、元気に餌を食べており、こうのとりの里の見学スペースに設置しているモニターからコウくん、コウちゃんの子育ての様子を見学することができる。

順調に行けば、7月中旬に巣立ちを迎え、8月中旬頃には放鳥できる見込みである。

●放鳥した11羽の最近の滞在状況

2023年5月30日現在

未来 : 茨城県神栖市・千葉県旭市付近 (2023年1月4日現在)

翔 : 茨城県神栖市・千葉県旭市付近 (2023年5月22日現在)

きずな : 静岡県浜松市付近 (2023年5月11日現在)

ひかる : 栃木県小山市付近 (2023年5月19日現在)

ヤマト : 千葉県野田市付近

カズ : 千葉県野田市付近 (2023年4月17日現在)

レイ : 栃木県小山市付近 (2023年5月19日現在)

たいよう : 茨城県神栖市付近 (2023年5月27日現在)

リン : 千葉県野田市付近 (2023年4月30日現在)

ミズキ : 茨城県神栖市付近 (2023年1月29日現在)

はく : 千葉県野田市付近 (2023年4月19日現在)

※「未来」「ひかる」…GPSが不通

「翔」「きずな」「カズ」「レイ」「リン」「ミズキ」…GPSの脱落を確認

「たいよう」「はく」…最初からGPS未装着

●「コウノトリと共生する地域づくり推進協議会」の概要

○設立年月日 平成24年8月1日

○協議会設立の目的

野田市におけるコウノトリの安定的な生息が可能となる「自然と共生する地域づくり」、コウノトリをシンボルとした「地域振興」と「環境教育・環境学習」の推進を通し、地域の生物多様性の保存・再生・創造等に資することを目的とする。

○役員など

会長は野田市長が務め、各役員は農業や商工関係者、教育関係など多様な組織の委員で構成する。

問合せ＝みどりと水のまちづくり課・直通 04-7199-8147

代表 04-7125-1111 (内線 2692)

野 田 市